

草の根無償「テコルカ市ロミア・ブランコ・ビウダ・デ・ブリオソ初中等学校整備計画」案件終了式

2021年11月12日、サン・ビセンテ県「テコルカ市ロミア・ブランコ・ビウダ・デ・ブリオソ初中等学校整備計画」の案件終了式を実施しました。同終了式には、当館館員、ビジャロボス・テコルカ市役所代表、アギレラ教育省サン・ビセンテ県局長、ペニャ学校運営委員会会長及び役員等が出席し、記念碑除幕や記念植樹等を行いました。

本計画は、草の根・人間の安全保障無償資金協力によるもので、サン・ビセンテ県テコルカ市ロミア・ブランコ・ビウダ・デ・ブリオソ初中等学校に3教室を新設するとともに、8教室の改修を行いました。プロジェクト総額は105,956.25米ドルで、その内日本政府は89,794.00米ドル、テコルカ市役所は8,500.00米ドル、地域住民は105,956.25米ドルを拠出しました。

本計画実施により、ロミア・ブランコ・ビウダ・デ・ブリオソ初中等学校に通学する782名の児童・生徒とその家族及び教員20名の教育環境の質が改善しました。



テープカット



記念植樹



記念碑除幕



記念碑除幕

<裨益者からの声>



日本の援助で新設または改修された教室は、今まで問題であった騒音や雑音などがなく、勉強に集中できる環境となっています。市役所として、日本の援助、地域住民、そして学校関係者に大変感謝しています。 ビジャロボス市役所代表

このたび案件終了式を迎えられ、感無量です。今は雨漏り等の問題に悩まされることなく、教員や生徒たちがこの新設教室や改修教室で勉強に対するモチベーションを保ち、大変喜んで授業に参加しています。 ペニャ学校長



教育大臣はじめ教育省関係者一同が、今回の日本からの援助に大変感謝しています。また、学校長、地域住民や学校関係者の皆さんの案件実施に向けた努力に対し敬意を表します。この案件は現在の生徒や今後入学する子どもたちにも良い影響を与える事でしょう。 アギレラ教育省代表

今までの教室は雨が降ると雨漏りに悩まされ授業に集中することができませんでしたが、新設及び改修された教室で、生徒たちが授業に集中できるようになりました。教育省関係者、学校関係者及び日本のみなさま、本当にありがとうございました。教員代表



僕は小学校3年生です。新しい教室を援助して下さったことに大変感謝をしています。これから僕たちは頑張って勉強していきます。ありがとうございました。生徒代表

この案件が実施されたことをとてもありがたく思っています。子どもたちはもちろんのこと、子どもを預ける親としても大変喜ばしく感じています。ありがとうございます。保護者代表

